

デジタル教科書指導案／地理的分野

1. 題材 p.26-29 世界のさまざまな生活と環境
2. 目標 (1) 世界各地の市場の様子から、世界にはさまざまな自然環境の地域があることを理解できる。
(2) 写真や雨温図、主題図を活用し、世界のさまざまな地域の気候の特色を考察できる。

3. 章・節の評価規準例につながる指導のポイント

評価との関連	指導のポイント
知識・技能	・世界各地の市場の売り物や人々の服装などから、世界にはさまざまな自然環境の地域があることを理解している。
思考・判断・表現	・写真や雨温図、主題図を活用して、世界のさまざまな地域の気候の特色を考察している。
主体的に学習に取り組む態度	・世界各地の人々の生活と環境の多様性に対して関心を持ち、主体的に追究しようとしている。

4. 指導過程

	学習内容・学習活動	資料・発問	留意点(○)・指導のポイント(◆)
章の見通し	0. 世界各地の気候帯の写真を題材にし、「章の問い」への見通しを持つ。	 p.28 1・3・5・7 それぞれの写真から、世界の気候について、イメージすることを挙げてみよう。 「章の問い」について、学んでみたいことや、疑問に思ったことを自分の言葉で表してみよう。 解決のために、何が分かればよいか、どのようなことを調べればよいかなど、見通しを立てよう。	○ 世界各地の気候帯の写真を題材にし、それぞれの写真からイメージすることを発表させながら、「章の問い」への見通しを持つ。 ○ 「学習の見通し・振り返りシート」へ記入させ、章の学習の見通しを持たせる。
導入	1. ペルーとスペインの市場の写真を題材にし、本時の課題をつかむ。 2. 世界にはどのような気候があるのか予想し、学習課題への見通しを持つ。	 p.26 1 p.26 2 売り物や人々の衣服に注目して、気付いたことを挙げてみよう。 世界にはどのような気候があるのか予想してみよう。	○ ペルーのじゃがいもの写真やスペインのオリーブの写真から、農作物と気候について知っていることを発表させながら、本時への導入を図る。 ○ 世界にはどのような気候があるか予想させる。 ○ 「学習前の予想」へ記入させ、本時の学習展開の見通しを持たせる。
学習課題：世界の人々が暮らすそれぞれの地域には、どのような気候の違いがみられるのだろうか。			

3. 世界各地の気候の特色を衣服や自然環境から理解する。

(1) 高地の市場



p.26 1



p.26 2

(2) 温暖な地域の市場



p.27 4



p.27 5



p.27 6

(3) 暑い地域の市場

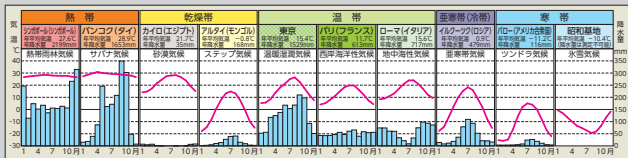
	おもな売り物	気付いたこと
①	じゃがいも	(例) さまざまな種類のじゃがいもが、大きな袋に入れられて売られている。店の人は厚着をしているが、客は半袖の人も見られる。強い日差しに対応するために帽子をかぶる人が多い。
②	オリーブ	(例) さまざまな色のオリーブが売られている。隣の店では半袖のシャツが売られ、店の女性も薄着である。
③	野菜・果物	(例) パラソルで日ざしを避けた店では、さまざまな種類の野菜や果物が売られている。女性はスカーフを身に付けている人が多い。
④	らくだ	(例) 日ざしが強そうな市場では、らくだが売られている。男性はゆったりとした服を着て、頭に布を巻いている。
⑤	魚介類	(例) 魚が冷凍された状態で売られている。寒気候に対応して、毛皮などを身に付けている人が多い。

(5) 寒い地域の市場

それぞれの写真から、売り物や店の様子、衣服などについて気付いたことをまとめてみよう。

世界各地の人々の生活は、自然環境とどのような関わりがあるのか説明してみよう。

4. 世界のさまざまな気候を理解する。



p.29 10

五つの気候帯の分布の特徴をまとめてみよう。

気候帯	分布の特徴
熱帯	(例) 赤道から緯度 20 度くらいの場所に広く分布している。
乾燥帯	(例) 北回歸線・南回歸線付近や、大陸の内陸に分布している。
温帯	(例) 中緯度の地域に分布し、大陸の東側に温暖湿潤気候、大陸の西側に西岸海洋性気候や地中海性気候がみられる。また、低緯度の標高が高い地域にもみられる。
亜寒帯	(例) 北半球の高緯度に分布している。一方、南半球では亜寒帯がほとんどみられない。
寒帯	(例) 北極圏・南極圏付近から極側の地域と、ヒマラヤ山脈、チベット高原、アンデス山脈などの標高の高い地域に分布している。

5. 本時のまとめをする。

各気候帯の特徴を、気温や降水量と関連づけて説明しよう。

6. 学習課題への振り返りの活動を行う。

「学習後の振り返り」の欄に記入してみよう。

○ 学習プリントを活用し、写真を手がかりに、各地の気候の特色を市場の売り物や人々の衣服に注目してまとめさせる。

○ 写真が撮影された、ペルーのクスコ、スペインのカルタヘナ、インドネシアのフロレス島、アラブ首長国連邦、ロシアのヤクーツクの位置を地図帳で確認させる。

○ 世界の人々の生活と自然環境の関わりを考えさせる。

◆ 世界各地の人々の衣食住は、自然環境の影響を受けていることに気付かせる。

○ 学習プリントを活用し、五つの気候帯の特徴をまとめさせる。

◆ 世界の気候は、熱帯、乾燥帯、温帯、亜寒帯、寒帯の五つに区別されることを理解させる。

◆ 日本のほとんどは温帯に属し、北海道は亜寒帯に属していることに気付かせる。

◆ 雨温図の読み取り方を理解させる。

○ 雨温図コンテンツを活用し、学校の近くの都市と比較させる。

◆ 各気候帯の特徴について、都市の位置に着目して、気温と降水量の関係を説明できたか確認する。

○ 「学習後の振り返り」へ記入させ、「学習前の予想」と比較させる。